

製品名: HSP70 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12253**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPA1A
別名	HSPA1A; HSPA1; HSPA1B; Heat shock 70 kDa protein 1A/1B; Heat shock 70 kDa protein 1/2; HSP70-1/HSP70-2; HSP70.1/HSP70.2
遺伝子 ID	3303/3304
SwissProt ID	P0DMV8/P0DMV9
免疫原	K246 の非アセチル化部位の周囲にあるヒト HSP70 由来の合成ペプチド。

背景

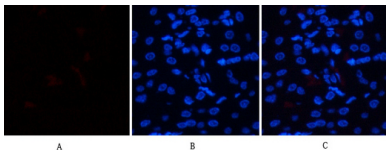
このイントロンのない遺伝子は、熱ショックタンパク質 70 ファミリーのメンバーである 70kDa の熱ショックタンパク質をコードし

ています。他の熱ショックタンパク質と連携して、このタンパク質は既存のタンパク質の凝集を安定化し、細胞質および細胞小器官で新しく翻訳されたタンパク質のフォールディングを仲介します。また、AU リッチエレメント RNA 結合タンパク質 1 との相互作用を介して、ユビキチン-プロテアソーム経路にも関与しています。この遺伝子は、主要組織適合遺伝子複合体クラス III 領域にあり、類似のタンパク質をコードする 2 つの密接に関連した遺伝子とともにクラスターを形成しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 他のシャペロンと協力して、Hsp70 は既存のタンパク質の凝集を安定化し、細胞質および細胞小器官内で新しく翻訳されたポリペプチドのフォールディングを仲介します。これらのシャペロンは、他のタンパク質の非ネイティブな構造を認識する能力を介して、これらすべてのプロセスに関与しています。HSPA1B は、翻訳および膜移行中、あるいはストレス誘発性損傷後にポリペプチドによって露出する、正味の疎水性を持つ延長ペプチドセグメントに結合する。ロタウイルス A 感染の場合、ウイルスが細胞内に侵入しやすくするための付着後受容体として機能する。誘導: 熱ショックによる。類似性: 熱ショックタンパク質 70 ファミリーに属する。サブユニット: HSPA1B は、CATSPER1 および CATSPERB と精子特異的な複合体を形成する (類似性による)。TSC2 と相互作用する。IRAK1BP1 と相互作用する。組織特異性: HSPA1B は精巣特異的である。、

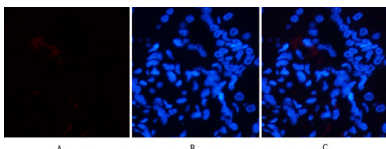
研究分野

スプライソソーム;MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;エンドサイトーシス;抗原の処理と提示;プリオン病;

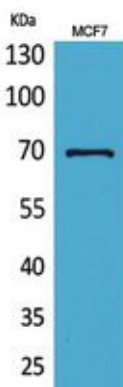
画像データ



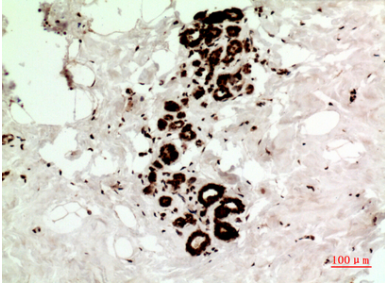
ヒト腎臓組織の免疫蛍光染色。1, HSP70 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



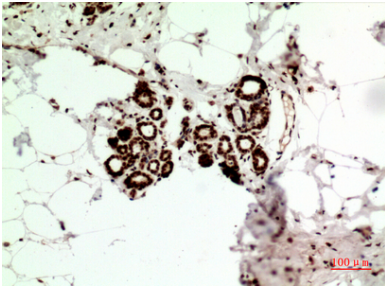
ヒト腎臓組織の免疫蛍光染色。1, HSP70 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



HSP70 ポリクローナル抗体を用いた MCF7 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された